

北海道立市民活動促進センターは、地域社会のニーズに的確に応えようとするNPOなどの道内の市民活動を応援しているセンターです。

## 特集

道内の市民活動支援センターを紹介します。

### 「旭川市市民活動交流センターCoCoDe」

今号から北海道内にある市民活動の支援施設を順次紹介いたします。今回は旭川市で6月29日にオープンする「旭川市市民活動交流センターCoCoDe」について、指定管理者のNPO法人旭川NPOサポートセンター事務局長の森田裕子さんからご紹介いただきます。

#### 旭川市の市民活動推進拠点オープン！

約11年前、これからの地域社会にはNPO活動が必ず必要になるとの思いで、ないないづくしのところからスタートした旭川NPOサポートセンターも、今年の6月に法人設立10周年を迎えることになりました。

折りしも、市民活動やNPO活動推進の拠点とも言うべき、「旭川市市民活動交流センターCoCoDe」が6月にオープンを迎えますが、これまでの10年間の活動が実り、指定管理者として、旭川NPOサポートセンターが指名されました。

この10年間、NPOを支援する民設民営の中間支援センターとして、理想は高くても現実には厳しいジレンマの中、古びたビルの一室で細々と様々な活動をしてきました。

現在は、旭川市内でもNPO法人が70以上、全国では30,000以上のNPO法人が存在し社会的にも認知されつつありますが、設立当初はNPOとは何だろうと訝しがられることもありました。

また一方で、サポートセンターという名称のせいか、いろいろな人々から助けてほしいとの電話や来訪がありました。「お金を貸してほしい。」「アパートを追い出される。」「ひきこもりの子どもがいる。何とかしてほしい。」「子どもが泣き止まないの、直ぐ来てほしい。」などなど、NPO中間支援センターの業務の他に人生相談所的な役割も

担ってきたという思いがあります。

こうした相談から、社会的課題やニーズを知って、解決に取り組む活動のきっかけになったこともありました。

数年前から全道的に、市民活動推進のための施設が相次いで設置されるようになりましたが、ここ旭川は、道内第2の都市でありながら他の地域に遅れをとっていました。

「事務所がほしい」「会議できる場所がほしい」「インターネットをしたい」「印刷機を利用したい」など市民活動団体の要望はかねてからありましたが、市民活動交流センター（仮称）設置に伴う検討会議が平成15年11月にスタートしてから7年が経過し、ようやく日の目を見ることができました。



旭川市市民活動交流センターCoCoDe 外観

## 「旭川市市民活動交流センターCoCoDe」こここ

市民活動団体にとって念願の活動の拠点「旭川市市民活動交流センターCoCoDe」は北彩都駅周辺開発地域のなかでも中核をなすシビックコア地区に位置し、旭川市科学館「サイバル」や、国の合同庁舎などがあります。

市民活動交流センターの建物は、1棟はホール棟として、もう1棟が市民活動支援棟と2棟から構成されており、かつては旧国鉄旭川車両センターとして使われていたものでした。明治32年に、鉄道の鍛冶工場と旋盤工場として建てられ、平成元年から次々と車両センターが解体されていった中でも、市民運動の声もあり、この2棟だけが残され、明治時代の建築技術を今日に伝えています。歴史的建造物ということもあり、センターの外壁は当時のレンガをそのまま活かし、趣のある外観を形づくっています。

センター機能としては、交流・展示コーナー、情報・閲覧コーナー（PC2台）、キッズコーナー、会議・研修室1および2、作業・打合せ室、事務作業室（大型プリンター1台、PC4台）コピー・印刷室（大型プリンター、コピー機、印刷機、製本機等）貸ロッカー室、キッチンを備えた共用ロビー、180人ほど収容できるホールがあります。オープン時間も朝9時から午後10時までと、仕事帰りの市民も利用できる時間帯となっています。

センターのスタッフは総勢7名で、交代勤務で市民の対応にあたります。



会議・研修室



ホール

市民が利用できる、こうした機能を持つ施設は旭川市では初めてとあって、多くの方々の利用が期待されます。

6月29日(火)の正式オープン前の6月19日(土)には、オープニングイベント開幕式として、「一人では生きられない」の演題で作家の小檜山博氏の講演があり、その後着物リフォームファッションショーが開催されます。20日からの無料開放日に続き、6月26日(土)27日(日)の両日は、オープニングメインイベントが催され、市民団体や農業者の物品販売・出展やアトラクション、フリーマーケット、乗馬、演奏会、映画上映、ディスカッションのほか、札幌から運んできたペロタクシーの乗車体験などが行われます。

すでに、ホールや会議・研修室の予約も徐々に増えてきており、旭川市民や近郊地域の方々にも有効に利用していただきたいと考えております。地域の発展と、一人一人の夢や目標実現のために、市民活動のさらなる活躍を支援するためこの交流センターを通して、様々な活動を行いたいと思います。

名 称：旭川市市民活動交流センターCoCoDeこここ  
 住 所：〒078-8329 旭川市宮前通東  
 電話番号：0166-74-4151  
 オープン：平成22年6月29日(火)  
 開館時間：午前9：00～午後10：00  
 休 館 日：毎月第2・第4月曜日 年末年始

# センターインフォメーション

## 助成金募集等のご案内

### Panasonic NPO サポートファンド 2011年助成事業募集

#### 【環境分野】

助成対象：環境問題に取り組むNPOの組織基盤強化に資する事業

- ・人材の育成：環境分野の専門家の養成やスタッフの能力向上を図る取り組み
- ・組織の充実：広報力、資金調達力、情報管理能力などの組織マネジメント力強化を図る仕組みづくり
- ・事業の開発：団体活動の発展拡大を図るためのプログラムの開発など
- ・コンソーシアム事業：共通テーマに取り組む複数の団体による上記事業

助成金額：1団体上限 150万円  
(コンソーシアムは上限 200万円)

#### 【子ども分野】

助成対象：子どもたちの健やかな育ちを応援するNPOの組織基盤強化に資する事業

- ・人材の育成：子どもに関わる事務局スタッフや専門スタッフ、ボランティア、サポーターの能力を高めるための人材育成
- ・組織の充実：子どもの居場所や活動場所の質を高めるための環境整備や、施設や拠点を持続的に運営するための財源強化や体制強化など
- ・事業の開発：子どもを対象とした既存のプログラム・事業の質をより高めるための評価・改善や、子どもよりニーズにあった新規のプログラム・事業の開発など

助成金額：1団体上限 150万円

#### 【アフリカ分野】

助成対象：アフリカの課題に取り組むNPO・NGOにおける広報・発信・啓発事業

- ・各団体の広報・啓発活動
- ・広報活動に携わる人材の育成

助成金額：1団体上限 100万円

応募期限：平成22年7月30日(金)

応募先：パナソニック株式会社  
コーポレートコミュニケーション本部  
社会文化グループ  
TEL：03-6403-3140

詳しくは、次のホームページをご参照下さい。

<http://panasonic.co.jp/ccca/pnsf>

### 第7回パートナーシップ大賞

NPOと企業の協働事業を募集します。

対象事業：日本に所在するNPOと企業の協働事業

・【パートナーシップ大賞グランプリ】

記念盾およびNPOには副賞30万円

・【パートナーシップ賞5事業】

記念盾およびNPOには副賞10万円

応募期限：平成22年7月31日(土)

応募先：NPO法人パートナーシップ・サポートセンター

TEL：052-762-0401

詳しくは、次のホームページをご参照下さい。

<http://www.psc.or.jp>

### 当センターと共催で開く講座や パネル展等の企画を募集しています！

(採択された団体と共催で開催し、センターが開催経費の一部を負担します)

#### 【公募企画講座】

市民活動の基礎知識の修得や地域が抱えている課題、応募団体が取り組んでいる活動などをテーマにした市民参加型講座の企画を募集します。

募集数：道内で活動する市民活動団体5団体

開催経費：採用した団体につき開催経費として5万円以内を当センターが負担します。

内容：参加人数は10名～30名で3時間程度の講座(講演、パネルディスカッション、ワークショップなど)とします。

開催場所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

開催日：事業採択通知後から平成23年3月までに開催

応募締切：平成22年6月30日(水)必着

#### 【市民活動ミニフェア】

みなさんが日頃取り組んでいる市民活動をテーマにした「パネル展」や「展示会」「展示会&講演会」などの企画を募集します。

募集数：道内で活動する市民活動団体3団体

開催経費：採用した団体につき開催経費として7万円以内を当センターが負担します。

内容：開催期間は3日間程度とし、パネル展、展示会、展示会&講演会などの形式とします。

開催期間内は説明員等を配置してください。

開催場所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

開催日：事業採択通知後から平成23年3月までに開催

応募締切：平成22年6月30日(水)必着

応募用紙等くわしくは、ホームページをご参照下さい。

<http://www.do-shiminkatsudo.jp/>

# センターインフォメーション

## 当センターで、参加募集中の情報一覧

### 市民活動スキルアップ講座

#### 「結果を出す質問～質問力アップ講座」

この講座では、人を動かすことや情報を引き出すための「いい質問」について学び、「提案する力」や「コミュニケーションをはかる力」、「会議等でまとめる力」の向上を目的に開催します。

日 時：平成22年7月11日（日）10:00～16:00

場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

内 容：講師 夏川立也さん

（株式会社アイ・エヌ・ジー伝達研究所代表取締役社長）

- ・コミュニケーションの中で、質問が果たす役割
- ・質問の種類
- ・人を動かす質問
- ・感情を動かす質問
- ・質問から広がるイメージ力とコミュニケーション
- ・質問力測定ゲーム
- ・質問がコミュニケーションを前に転がす
- ・聞き出してやると言わせるコミュニケーション
- ・イメージの重要性
- ・メンタルトレーニング
- ・無意識を見方につけよう

参加料：1,000円

定 員：30名（先着順とします）

対象者：市民活動実践者、市民活動関係者

### 「参加協働型社会～

#### “新しい公共”のあり方を考える」

この講座は、NPOと行政との真の協働のあり方と対等性をもって協働できる契約のあり方などについて考え、さらに市民活動団体の思いや活動を広く社会に知らせていくための「NPOとマスメディアとの協働」についても学びます。

日 時：平成22年7月31日（土）10:00～16:00

場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

内 容：講義：「真の協働とは」、「協働契約のあり方」、「NPOとマスメディアとの協働にむけて」

講師：世古 一穂さん

（NPO法人NPO研修・情報センター代表理事）

事例報告：

「札幌市における協働の現状と課題」

加納 尚明さん

（札幌市市民活動協働推進担当課課長）

「北海道のコミレスの広がり」

伊藤 規久子さん

（コミュニティ・レストランネットワーク北海道代表）

参加料：1,000円

定 員：30名（先着順とします）

対象者：市民活動団体で活動している方、市民活動に関心のある方、市民活動を担当している市町村自治体職員

### 市民活動ミニフェア

#### 「市民活動パネル展 & ポストカード展」

7月23日（金）の「カルチャーナイト」にあわせて、道内で活動している市民活動団体を紹介するパネル展（7月22日～23日）を開催します。

福祉や環境、国際交流、まちづくりなどさまざまな分野で活躍している市民活動団体の活動パネルを是非ご覧下さい。

日 時：平成22年7月22日（木）13:00～21:00

平成22年7月23日（金）9:00～21:00

場 所：北海道立市民活動促進センター研修コーナー

入場料：無料（申込みは不要です）

パネル展の参加（出展）団体募集中です。

規格：1団体1枚、A2版縦（594mm×420mm）

内容：団体名、活動内容、連絡先、その他PRなど。

出展希望の団体は、事前に申込書でお申し込み（先着80団体）の上、7月16日（木）

までに、作成したポスターを送付下さい。

団体が作成したポストカード（出展）も募集中です。

## 当センターでは、市民活動に関する疑問・質問に相談員がお答えしています。

「NPOって何ですか?」、「ボランティア募集の情報を知りたい」、「助成金に関する情報を得るにはどうしたらいいの?」、「市民活動団体の運営についてアドバイスを受りたい」、「現在の活動団体をNPO法人化したい」など市民活動に関わる相談にお応えします。

来館または電話、FAX、メールなどで、お気軽にご相談下さい。

・TEL：011-261-4440

・FAX：011-251-6789

・E-mail：center@do-shiminkatsudo.jp

・URL：http://www.do-shiminkatsudo.jp

掲載情報の詳細等につきましては、当センターのホームページまたは各団体のホームページ（助成金情報）をご参照下さい。

また、今回掲載以外の助成金情報なども随時更新中です。ぜひアクセスして下さい。

北海道立市民活動促進センターのホームページ  
http://www.do-shiminkatsudo.jp/